

平成30年度 飛翔認定こども園事業計画書

1. 飛翔認定こども園運営状況

(1) 施設運営の法的根拠

社会福祉事業法第2条第3項による第2種社会福祉事業であり、児童福祉法第35条第3項による児童福祉施設として認可申請を受けている。札幌市長認可(平成24年4月1日札子支第3626号)幼保連携型認定こども園として、札幌市長認可(平成30年4月1日)

(2) 施設の目的

児童福祉法の規定により「児童が心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない」(児童福祉法第1条)を掲げ、子ども・子育て支援法の規定に基づき、保護者の就労の有無にかかわらず、就学前の子どもに教育と保育が一体的に行うことと、在園する保護者だけではなく地域における子育て家庭の保護者等に対する支援を行うことを目的とする。

(3) 運営方針

乳幼児期の教育及び保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な役割を担っているものであることを踏まえ、一人一人の子どもの発達に応じた適切な関わりや環境に配慮し、質の高い教育及び保育並びに子育て支援の安定的な提供を通じ、子どもの健やかな発達を保証することを目指して運営する。

運営にあたっては、札幌市児童福祉法施行条例、札幌市子ども・子育て支援法施行条例(平成26年条例第48号)、認定こども園法(平成18年法律第77号)及びその他関係法令等を遵守するものとする。

(4) 施設概要

利用定員 100名

(1号認定10名、2号認定45名、3号認定45名)

職員数と園児数(平成30年4月1日現在)

(職員内訳) 園長(1)、主幹教諭(2)、保育教諭(15)、パート保育教諭(4)
栄養士(2)、パート調理員(2)、事務員(1)、小児科嘱託医(1)
歯科嘱託医(1)、嘱託学校薬剤師(1)

(園児内訳) 0歳児12名、1歳児19名、2歳児19名、3歳児20名
4歳児17名、5歳児18名

(2) 保育・教育内容の具体的展開

- ① 子どもにとって「第二の家庭」となるよう、環境に配慮し、一人ひとりの子どもの気持ちや発達の状態に寄り添いながら、適切な関わりを持ち、健康で安定した情緒を図り人への信頼感と自己の主体性を培っていく。
- ② 異年齢児保育を通して、各々の違いを知り、憧れやいたわりの気持ちを抱き、生活・遊びなどをごく自然に伝え合いながら、より良い成長・発達ができることをねらいとしている。また、年齢ごとの活動も週に2回(火・水曜日)行い、各年齢に合わせた制作、運動活動等、同年齢ならではの活動もバランスよく取り入れていく。
- ③ 子どもが自分で好きな遊びを選び、集中して取り組めるような環境づくりを心掛けている。発達に合わせた質の良いおもちゃを用意し、構成遊びやルールのある遊び、ごっこ遊び等を通して自分を十分に発揮できるような環境を整えている。又、毎日の絵本の読み聞かせで、美しい日本語や言葉遊びを楽しみ心の財産となるように、発達や季節に合わせた様々な絵本を選んでいる。又、わらべうたを大人と一対一で行い、人との関わりを大切に考えている日本の文化を伝えていく。
- ④ 毎日、戸外遊びを日課として取り入れ、四季の自然、土・水・草・虫等に触れる機会をつくっている。幼児は雨具を着て雨の日の散歩をして、雨天時の自然観察も行っている。また、園庭には実のなる木(クルミなど)を植樹し、プランターでじゃがいも、ミニトマト等の生長を楽しみ、収穫を味わっている。冬には園庭や近くの公園で、米袋のそり遊びや雪像づくり等雪の感触を楽しんでいる。四季を問わず、園庭や近くの公園で自然探索や戸外遊びを十分に行っている。
- ⑤ 時間外保育は一人ひとりの子どもの心身の状態に十分配慮し、保育内容の工夫に努める。
- ⑥ 障がい児保育は発達の遅れやそれぞれの障がいを理解し、保護者や子ども、未来局子育て支援部保育課、区保健福祉部、児童相談所等の療育機関や専門の医療機関との連携をとりながら、適切な援助ができるように職員間の共通理解を深める。より専門性を高める為、研修に励む。
- ⑦ 週1回、体育担当保育士が体力づくりに重点を置き、鉄棒、跳び箱、マット等を使った器械運動やサッカー、ドッチボール等で集団でのルールやゲームの楽しさを伝えている。(4, 5歳児対象)
- ⑧ 異文化交流・絵画造形教室・リトミック・サッカー教室の専門講師による学びの場を通して、集中力や感性、身体能力の向上を目指していく。
- ⑨ 姉妹園との交流は年間計画を立案し、交流を深め社会性を養う。

月	訓練内容	想 定	概 要
4月	火災 (消火訓練)	時刻 10:30 場所 給食室 避難場所 玄関ホール	・新入児はまだ慣れないので恐怖感を与えないようにする ・乳児は背負う
5月	地震 (消火訓練)	時刻 10:30 避難場所 園庭	・軽い地震とする ・机の下に頭、体を隠し、窓や戸を開けて避難する
6月	火災 (消火訓練)	時刻 15:00 場所 職員室 避難場所 園庭	・放送をしっかりと聞き放送に従い誘導する ・手で口元を押さえ避難する
7月	竜巻 (消火訓練)	時刻 11:00 避難場所 玄関ホール 保育室	・放送をしっかりと聞き放送に従い誘導する ・窓、ガラス類から離れて避難する
8月	浸水 (消火訓練)	時刻 予告なし 避難場所 3階ホール	・1階が浸水しそうだと想定する ・放送に従い誘導する
9月	地震 (消火訓練)	時刻 予告なし 避難場所 サイクリング ロード歩道	・玄関、非常口より避難する ・予告なしの為焦らず避難する
10月	火災 (消火訓練)	時刻 10:30 場所 給食室 避難場所 園庭	・消防署から火災の話を聞く (消防車見学他) (職員~通報・消火訓練)
11月	地震 (消火訓練)	時刻 予告なし 避難場所 園庭	・軽い地震とする ・予告なしの為焦らず避難する
12月	火災 (消火訓練)	時刻 予告なし 場所 近所の家 避難場所 玄関ホール	・冬期の為、園舎内で避難する ・予告なしの為焦らず誘導し、避難する
1月	不審者 (消火訓練)	時刻 予告なし 場所 予告なし 避難場所 各保育室	・状況を判断し、各保育室の内鍵をして侵入を防ぐ ・放送に従い誘導する
2月	地震 (消火訓練)	時刻 予告なし 避難場所 豊園小学校	・強い地震とする ・雪道を安全に避難する
3月	火災 (消火訓練)	時刻 予告なし 場所 3階機械室 避難場所 玄関ホール	・予告なしの為焦らず避難する ・放送に従い誘導する

(14) その他の活動

子どもの生活と遊び研究会の「手しごとクラブ」を、飛翔認定こども園を会場として年3回行っている。研究会所属の園より保育士・保育教諭が参加し、保育技術の向上を目的としている。

年間行事予定

月	行 事	月	行 事
4月	入園式・進級式 お楽しみ会、園医検診 子どもの日お楽しみ会	10月	焼きいも会、人形劇観劇 園医検診、お楽しみ会 防災訓練、クラス懇談会
5月	クラス懇談会 バス遠足	11月	お楽しみ会 交通安全教室
6月	歯科検診 お楽しみ会	12月	生活発表会 餅つき会 クリスマス会
7月	スペシャルぞうの日(年長児) 交通安全教室	1月	新年お楽しみ会 保育士合同研修会
8月	七夕祭り	2月	節分、雪中ゲーム大会 クラス懇談会
9月	小遠足(幼児) 運動会 敬老お楽しみ会 卒園児親子遠足	3月	ひな祭り、卒園児お茶会 お別れ会 卒園式

- ★ 毎月、避難訓練と身体測定があります。
- ★ 誕生会は、一人ひとりの誕生日当日にクラス毎でお祝いします。
- ★ 保育参観を随時行い、給食試食と個人懇談も併せて行っています。
- ★ 個人懇談は保護者の希望日に合わせて随時行っています。
- ★ 年長組は、毎月1回栄養士の指導でおやつづくりを行います。